

長野県立こころの医療センター駒ヶ根 精神科領域専門医研修プログラム



専門研修プログラムの特徴

当院では、急性期から慢性期、児童・思春期から老年期、任意入院から措置入院、更には医療観察法入院や、rTMS(反復経頭蓋磁気刺激療法)等の先進的取り組みなど、精神科領域におけるほぼ全ての専門領域を網羅できるプログラムを実施しています。

また、地域の精神科中核病院として地域医療や社会福祉の現場も実践的に体験することが出来ます。

当院の専門研修プログラムで習得できること

- 医師としての基礎となる課題探求能力や問題解決能力について、一つひとつの症例を通して考える力を養う。
- 精神保健指定医、日本精神神経学会専門医の資格取得を目指す。
- 博士号の取得（連携大学院への入学が必要です）

プログラムの内容

1年目

- コアコンピテンシーなど基礎的な素養を身に付けます。
- 指導医と一緒に統合失調症、気分障害、器質性精神障害等の入院患者を受け持ちます。診断と治療計画、患者さんやご家族との面接の仕方、薬物療法及び精神療法の基本を学びます。
- 精神保健指定医の指導のもと、行動制限の手続きなど、基本的な法律の知識を習得します。
- 入院治療では1年目前半では急性期医療に、後半には精神科救急に従事し、緊急入院の症例や措置入院患者の診察に立ち会います。
- 外来診療では、指導医の診察に半年以上陪席し、面接の技法や患者さんとの関係の構築の仕方、基本的な心理検査の評価について学びます。
- デイケアにも関わり、精神科リハビリテーションを実践します。
- 院内のカンファレンスで発表し、討論します。

2年目

- 指導医の指示を受けつつ、自立して面接の仕方を深め、診断と治療計画の充実を図ります。
- 薬物療法を習得し、認知行動療法や力動的精神療法の基本的考え方と技法を学びます。
- 入院治療では、不安障害、依存症、児童・思春期精神障害及びパーソナリティ障害の診断・治療を経験します。
- チーム医療におけるコミュニケーション能力を養い、チームリーダーとしての素養を身に付けます。
- 精神科救急において、緊急入院や非自発入院患者への対応、治療方略、家族面談に従事します。
- 実際の医療現場を通じて、精神保健福祉法、心神喪失者医療観察法など、知っておくべき法的知識を学習します。
- 論文作成や学会発表のための基礎知識を身につけ、信州世親神経学会等で発表します。

3年目

- 連携する総合病院または単科精神病院で研修を受けます。
- 指導医のスーパーバイズを受けながら、入院・外来ともに主治医となり、診療します。
- 上級者の指導の下、薬物療法、認知行動療法、力動的精神療法などを実践します。
- 他職種との関係を構築し、心理社会的治療、精神科リハビリテーション等を学びます。
- 他科と協働してリエゾン・コンサルテーション精神医学を経験します。
- 関連する研究会や学会での発表、学術誌への投稿を行います。

ローテーション例



当院では、専攻医のニーズに最大限応えられるよう、さまざまな研修コースを用意しています。お気軽にご相談ください。



問合せ先

長野県立こころの医療センター駒ヶ根 事務部 次長宛

〒399-4101 長野県駒ヶ根市下平2901

TEL 0265-83-3181 FAX 0265-83-4158

MAIL seishinka-center@pref-nagano-hosp.jp